



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第408号

2019年6月3日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

陸自オスプレイの暫定配備撤回を申し入れ

5月30日、日本共産党八千代市議団は、他の市議団とともに防衛省に申し入れを行いました。申し入れ内容は「陸自オスプレイの暫定配備撤回を求める」ものです。5月24日原田憲治防衛副大臣が木更津市長に行った説明の中で、オスプレイの暫定配備とともに、「オスプレイの訓練が想定される演習場」として習志野演習場があげられたことに関し、真意をたずねました。



現在、木更津駐屯地では米軍オスプレイの定期検査を行っています。当初3〜4ヶ月で終わるとされていた定期検査は2年かかりました。2機目が現在1年かかっています。

なぜ、突然習志野演習場にオスプレイが来る？

日本政府は、アメリカから購入する17機のオスプレイを佐賀空港に配備することにしています。しかし、佐賀空港は、住民との協定で軍用機の運用・配備が認められていません。それをゴリ押しして佐賀空港に配備しようとして暗礁に乗り上げています。そのオスプレイを佐賀空港に配備する条件が整うまで、木更津基地に暫定配備をするというものです。その暫定配備の間の訓練を周辺演習場で行う予定との説明で、習志野演習場の名前が挙げられました。

そもそも日本共産党は、事故の多いオスプレイが日本の上空を飛ぶこと自体に反対です。防衛省は「オスプレイの安全は確認しています。木更津市への暫定配備は決まったものではなく、地元への理解を得ずに行うものではない」と答えました。

さらに、訓練先については「名前を挙げただけで決定ではない」。さらに「訓練地が決まった際には説明する」ととどまっています。地元への理解は考えていないようです。

参加者から次々と不安の声が

地元の参加者からは「今でも騒音に悩まされているのに、オスプレイが来たらさらにひどくなるのでは？パラシュート訓練でも場外に落ちてくるのに、オスプレイの事故への不安はさらに大きい」との声がありました。

国は、来年3月から運用を開始するといっています。木更津市の配備だけでなく、周辺演習場での訓練を行うことになったら、習志野演習場も運用される可能性は強まります。今後とも市民の安全な生活を守る立場で、「配備撤回」を求め、奮闘する決意です。